

令和元年度 第1回 旭区教育会議 要旨

- 1 開催日時 令和元年10月9日(水) 午後6時58分から午後8時15分まで
- 2 開催場所 旭区役所3階 第1会議室
- 3 区役所より、以下の4点について報告
 - ① 区の令和元年度教育関連の取組について
 - ② 区政会議委員意見の報告について
 - ③ 教育行政連絡会について
 - ④ 旭区の学校選択制について
- 4 出された質問・意見
 - Q.1 学校選択制には、学校ごとの運動能力・学力調査が掲載されているが、必要なのか。
A.1 1学年で1クラスしかない学校は、具体的な数字は特定される恐れがあるため、掲載しないが、複数学級の学校については幅広く保護者の選択になることから掲載することが決まっている。各学校が切磋琢磨して選ばれる学校になるべきだとの考えで始まっており、その一つの指標として、学力・体力の調査結果を掲載しているのご理解をいただきたい。
 - Q.2 発達障がいサポート事業の登録支援員は、大阪市の指定割合なのか。
A.2 発達障がいサポート事業の支援員は、学校で選んでいただき、区役所に報告の後、登録をしているので、割り当てをしている訳ではない。
 - Q.3 新規事業の中高生自立育み事業とあさひ学び舎との連携はどうなっているのか。
A.3 中高生自立育み事業の対象は学び舎事業と同じく、生活保護世帯・生活困窮世帯の方々を対象となっている。自立育み事業では、様々な職業に接する機会等を提供するため、講演や実地体験等を踏まえて、将来の自分自身としての自立心を育むための事業となっている。今年度開始した事業で年間6回予定しており、現在3回、実施済み。
 - Q.4 子ども食堂支援事業は、食堂だけではなくて学習支援もやるようになっているのか。
A.4 旭区内では7か所子ども食堂があり、開催日に講師を派遣して宿題の手伝いをしたり、プリントしてもらったりといったことをしている。区役所でも学習支援を募集しており、応募された方に支援してもらっているケースもある。
学習支援としては、昨年度は3ヶ所だったが、今年度は5ヶ所で取り組まれている。内容は宿題が主だが、夏休みの宿題を兼ねた工作教室や読書感想文の書き方の教室を開いたり、食育のための講師派遣をしている所もある。
 - Q.5 子ども食堂は感覚的に子どもの食事が準備できず、緊急避難的に使えるような場所といったイメージがあるが、子ども食堂に来る子ども達の情報は、役所で把握して

- いるのか。
- A. 5 子ども食堂は居場所として地域で存在しているもので、貧困家庭だけということではない。何か課題がある子どもが集まっているという訳ではないので、どんな子どもが来ているか、というところまでは、区役所は把握してしない。
- Q. 6 クラブ部を選べるような状況で、子ども達にスポーツをさせてあげたいが、今の環境をお聞きしたい
- A. 6 学校選択制では、クラブの有無で中学校を選択される場合がかなりあるように聞いている。部活動の顧問はだいたい経験者がしている。しかし、数年後に異動になった場合、多くの学校では、指導経験の有無にかかわらず、だれかが担当すると同時に「今後、存続させるかどうかを検討する」という形になる。補助的な部分では、指導者の招聘事業が有り、指導をしていただくことがあるが、指導者の数が少ないので、いろんな要望にお応えする、というような状況には至っていない。
- Q. 7 旭ベーシックサポート事業について、前年度と比べて今年度の金額が、半額近くになっているが、その理由をお聞きしたい。
- A. 7 本事業は、中学校の放課後等の自主学習の時間を確保し、支援員さんを派遣する事業だが、他の事業について若干の予算再編を行い、昨年度の実績を確保しながら予算編成を行った。
- Q. 8 児童の運動能力向上サポート事業でスポーツ選手の指導を受けることがあると思うが、子ども達の遊び場が地域からなくなってきているというところから考えて、下支えになる運動能力は向上しないと思う。
学校を含めた形での今後の対応はどうお考えになっているのか。
- A. 8 専任の講師を招いて体育の授業の中でやってもらい、それを見て先生自体が学ぶ一方、子ども達も専任の方の指導を受けて、できたという感覚に触れるような事業となっている。外で遊ぶ子供達が、圧倒的に減っていることもあり、基礎的な体力を作るためのベースは、今は授業が始まる前や業間の時間、昼休みを活用して、学校でも工夫して取組んでいる。
- Q. 9 中学校の体育の先生を小学校の体育の授業に派遣して、指導方法を先生自体も勉強している学校もあると話を聞いたが、旭区全体に広げていくことは、考えていないのか。
- A. 9 中学校でも、習熟度別や国語・数学・英語の先生の加配、スーパーシップ特例校が加配を受けているところ等、小学校と連携した取組みはしてもらっている。それ以外に指導だけでなく、スポーツテスト時の測定等も協力いただいているという話がある。中学校の教師が何らかの関わりを持つことで、中学校への移動がスムーズに行くことにも繋がるので、できれば全区的に、希望としては全市的に広がってほしいと、部会長として思っている。
実現していきたいと思っているので、力添えをお願いしたい。